



432

編集発行人 針谷宏一
 治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462
<http://www7.plala.or.jp/tian>
 定価 50円

国会請願の成功を力に 参院選で同盟支持勢力の躍進を

新政権のもとではじめての国会請願行動。同盟は昨年末より国会議員地元事務所など訪問し繰り返し要請行動を行ってきました。5月13日の国会請願には43都道府県から157人の代表が参加し500名を超える衆参両院議員への紹介議員要請行動を行いました。また、当口は、水谷安子さん、山下懋さん、市吉澄枝さんの3人の犠牲者も参加、江田五月参院議長、千葉景子法務大臣にも直接面会し、犠牲者へ謝罪と賠償の早期実現を要請しました。法務大臣は「これは歴史認識の問題で困難はあっても解決しなければならぬ……」。参院議長は「私の父も犠牲者でみなさんの気持ちはよくわかります。みなさんもお元気でいて下さい」と語りました。

今日、世界的にも歴史の負の遺産や人権侵害に対する責任の追及と清算が行われています。注目すべきは、いずれも政権交代を機に実現していることです。

同盟の要求実現も新しい政治状況をさらに進化させる大きな国民的運動の中でかちどころではありませんか。

参議院議員選挙は目前です。国民の願つ真に新しい政治と同盟要求実現のための大事な機会です。

主な記事

国会請願ー治安維持法犠牲者に国は謝罪と賠償を……	2
顕彰碑/島根県・千金貫事……	5
抵抗の群像/小澤路子……	6
同盟歌壇/碓田のぼる選……	7
読書『上甲米太郎』……	7

一日も早く国は犠牲者に謝罪と賠償を

500人余の国会議員へ署名30万余筆 5・13国会請願に153名参加

同盟は5月13日、全国43都道府県から157人が参加して、治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を求める国家賠償法の制定を求める署名30万余筆をもって、国会議員500人を超える衆参両院議員事務所を訪問し請願しました。

要請に先立つ集会で、柳河瀬精会長(写真左側)は署名集めに奮闘した全国の同盟員と協力団体へ



の感謝をのべ、「鳩山新政権の下の初の請願行動でどのような結果が出るかはわからないが、「世界では戦後補償問題は進展しており、日本でも変化が始まっています。私たちの要求は必ず実現できます」とのべました。

日本共産党仁比そうへい参院議員(写真上下)も駆けつけ、同盟の粘りづよい活動に敬意を表明した後、戦後補償問題のたまたかにふれ、「戦争の責任問題をはつきりさせる時です。日本共産党は全力で頑張ります」と激励しました。午後からは、各地方ブロックごとに分かれて組をつくり、民主・共産・社民・自民・公明など各党の衆参両院議員を訪ね、紹介議員となる要請をおこないました。

中央三役と犠牲者の水谷安子さん(96)、市吉澄枝さん(86)、山下懋(つとむ)さん(90)らは、江田五月参院議長、千葉景子法務

大臣に面会、一日も早い治安維持法犠牲者への謝罪と賠償の実現を要請しました。午後3時半から開かれた全体集会では、「ほかの民主は受け取らないが、鳩山首相、石川知裕衆院議員は受け取った」(北海道)、「民主は全員受け取る」(秋田・茨城・香川)、「民主は全員ダメ」(岡山)、「元防衛庁長官が受け取る」(香川)などのさまざまな反応が報告されました。



鹿野道彦議員に要請する山形県の代表団

山下さんは「楽しく有意義な一日だった」、水谷さんは「みなさんの励ましを受けて100歳まで頑張りたい」、市吉さんは「脅かされたけど拷問にはあわなかつたけれど、歴史の語り部として行動したい」と感想を語りました。



鳩山首相が普天間問題で変節の粉飾の口実にした「抑止力論」。この抑止力論を国民的議論を通じて正しく論破することは当面の政局の解明と参院選の争点の一つとしても重要です。ことは安保改定50年。「在日米軍」とりわけ海兵隊は日本の平和と安全をまもりつづけた抑止力」。この鳩山抑止力論を許すなら、過去50年はおろか今後21世紀安保体制固定化の論拠となる危険があります。澄んだ目で素直に戦後史を振りかえりますと、インドシナ人民数百万の命を奪ったベトナム戦争では、日本はトイレットペーパーから戦車の輸送まで協力させられ、大義なき湾岸戦争やイラク戦争では、「金や汗だけでなく血を流せ!」と強要されました。では、日本の平和と安全をまもりつづけた真の抑止力の根源はどこに。侵略戦争の反省と痛苦の体験が結晶した平和憲法厳守と、非核平和の国民的運動のねばりつよい展開にこそ見いだすことができましよう。(二元)

江田参院議長、千葉法相に国賠法制定を要請

犠牲者の水谷・市吉・山下氏らとともに

~~~~~

柳河瀬会長はじめ副会長と治安維持法犠牲者水谷安子・市吉澄枝・山下懋の3氏らは13日午前、議長公邸に江田五月参院議長を、午後は、法務省に千葉景子法相を訪ね、国が一日も早く治安維持法犠牲者に謝罪と賠償をするよう要請。それぞれに日本共産党の仁比そうへい参院議員が同行しました。

~~~~~

父も治安維持法で逮捕された
江田五月参院議長に要請

柳河瀬会長が江田参院議長に要請文を手渡し、犠牲者の3氏を紹介しました。江田議長はみなさん



江田参院議長と犠牲者代表一行（議長公邸）

はなぜ逮捕されたのですかと質問。3氏の発言を聞いたあと「父も治安維持法で逮捕さ

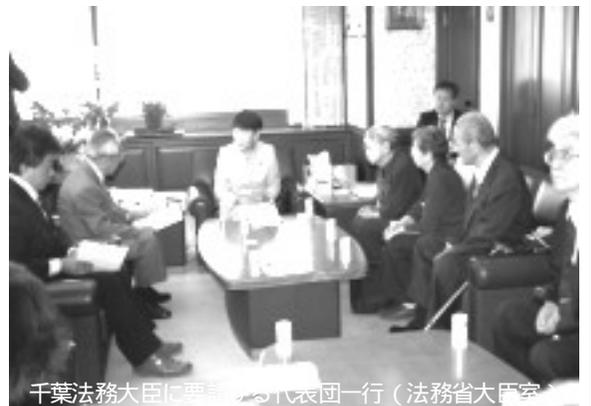
れ2年3カ月拘留されました」とのべました。

市吉さん（写真左）は、「東大生だった兄が自宅で勉強会を開いていた。その人たちの熱心さに共感し、女性2人で婦人



論などを読む勉強をしました。それだけのことで捕まり、千葉警察に留置され、大空襲のときも、みんな仮釈放されたのに私一人、思想犯ということで釈放されなかつた」と恐怖の体験を語りました。

山下さん（写真下）は、北海道で小学校の教師のとき、「生活図画事件」で17人が逮捕。生活を見つ



千葉法務大臣に要請する代表団一行（法務省大臣官邸）



行猶予4年の判決。「二度と繰り返さないでほしい」と訴えました。水谷さん（写真左）は「私は97歳になつたが、被害者の生きてい



める絵を描かせた教育実践が断罪され、私は懲役2年執行猶予4年の判決。「二度と繰り返さないでほしい」と訴えました。水谷さん（写真左）は「私は97歳になつたが、被害者の生きてい

ために頑張りたい」と語りました。

訴えに胸に突き刺さる思い

千葉景子法務大臣に要請

柳河瀬会長は、千葉法務大臣に治安維持法の犠牲者のうちには小林多喜二、岩田義道のように国家権力によって虐殺された人々が多数いるが、これらの人々に対する謝罪と賠償問題が放置されていることは由々しい事態であり、国は直ちに調査をして謝罪と賠償問題に取り組むべきだと訴えました。

犠牲者の水谷さん、市吉さん、山下さんからは、参議院議長の時と同様、こもこも弾圧を受けた経験が生々しく話されました。

千葉法相は、「みなさんの訴えは、胸に突き刺さる思いだ。私も、みなさんの請願に賛同してきた。戦争のための弾圧という歴史に対する正しい認識を共有することは大切なこと。それは難しいことであるけれども努力していかなければならない」と考えている」とのべ、同盟運動に理解と共感を示しました。

感想

国会請願に参加して

51名全員に請願

東京都

都本部は、23名参加で7組を編成し、東京出身の全国会議員51名を訪問、紹介議員要請をおこないました。

民主党32議員を訪問して1名、公明党4議員を訪問して1名が請願署名を受け取りました。

、みんなの党(川田龍平)と無所属各1議員は受け取りを拒否しました。共産党3議員を訪問して全員快諾、激励を受けました。

都本部の参加者は、事務局の手伝いや他県の要請行動応援もおこないました。(宮田 勝)

「幹事長室一元化」に挑戦

茨城県

民主党の「幹事長室一元化」の方針のもと、これをどう突破するかを焦点にのぞんだ。もし署名簿を受け取らなかつたらどうしようか、「どう説得したらいいか」「じゃどこへ持っていけばいいの

か、民主党本部や、幹事長室か」と。ところが、予想に反して11人(これまで3人)の民主党議員のうち、郡司農水副大臣をのぞいて10人が受け取ってくれて、拍子抜け。焦点の問題について何のやりとりもなく進展がなかつたことが至極残念。

3人の議員と面談できたのが収穫。大島議員(県本部会長)に「党として国賠法制定支持を正式決定して、実現のため力を発揮してほしい」と申し入れたところ、「党内にはいろいろな意見があり、そう簡単にはいかないと思う」との返事だった。(久保田俊雄)

青年たちに伝えたい

大阪府

今回初めて国賠同盟の国会要請に参加しました。治安維持法については戦時中を描いた書籍や山本宣治の映画「武器なき斗い」など



でえがかがれて知っ

らいで、「多くの人が捕まり拷問された」とか「黄色い署名」という認識だけでした。

しかし、今回参加したことで、ひどく残酷な、言葉では表せないような仕打ちをされ、ポロ雑巾のように捨てられた人たちのことを聞き、胸が痛みました。また、もし自分が当時に生きていたら、拷問に堪えられたらどうか……等も考えながらメンバーの方の話を聞かせてもらいました。

戦後もいつさいの謝罪や賠償もなく、政府のその無責任さに憤りを覚えました。国会議員への要請行動においても、無関心な国会議員、秘書が多く、国民の声というものをごどのように思っているのか?と思いました。

今後、まわりの青年らにも今回の話を伝え、若い世代がこの運動を引き継いでいかななくてはいいけないと思いました。

今すぐに、力になれるかわかりませんが、平和な世界をつくるために、命を落とした方たちの遺志を継ぎ、努力していきたいと思えます。(川淵友樹)

民主党の応対さまざま

福岡県

私たちの班は衆議院第一議員会館の九州関係の16議員(民主12、社民2、共産1、国新1)の部屋を訪問。秘書の方に署名を預かってもらえたのは6名(民主3、社民2、共産1)でした。

昨年の紹介議員は4名(民主2、社民1、共産1)で、この民主の2名ですが、1名は政務官になったのであつかえません。もう1名はあつかってくれたのですが検討するとのこと。社民と共産は快くあづかつていただきました。

昨年の紹介議員ではない社民の方は一応はあずかるが、どうなるか分からないと言われていましたが、しばらくして私たちを追いかけて来て「政策担当者が帰ってきました。了承します」とのことでした。

とにかく民主党の態度が様変わりしたのにはびっくりしました。民主党の方から聞いたのは、「請願ではなく要望なら聞く」「党として検討する」「民主党の県を通してくれ」等でした。(戸次達雄)



顕彰とともに 新支部を結成

千葉県松戸支部

一昨年から同盟支部作りの準備がはじめられ、去る5月9日、50人余の参加者を得て結成総会が開かれました。総会では松戸市で唯一人健在の治安維持法弾圧犠牲者・高澤義人氏（96歳・写真左）が講演しました。高澤氏は、中央大学在学中に唯物論研究会に参加し逮捕され約1年間拘留され、ついで補充兵として中国、沖縄に動



員され餓死寸前に米軍捕虜になった体験を語り、戦前の思想弾圧や戦争の悲惨さを若い世代に伝えていくことの重要性を訴えました。

総会では顧問に高澤氏、支部長に古田玲子元県議を選出。会場で8人の新会員を迎え倍加を達成、国会請願には2名が参加しました。
(事務局長・伊藤次男)

東京葛飾支部

東京葛飾区では、戦前、東部東地域で労働運動と党活動を展開、共産党東京市委員長として4回の投獄を受けながら不屈にたたかっていた古川苞しげの墓前祭(理昌院)と顕彰運動が日本共産党葛飾地区委員会と同盟都本部が中心になって行われてきました。

この間、彼の生涯の研究をまとめたパンフ「古川苞―その不屈の生涯」の発行とともに顕彰運動が前進、葛飾ピラ配布事件のたたかいと結合して葛飾支部結成にこぎつけました。支部では会員拡大と国会請願署名に取り組み、成果を上げています。

(事務局長・杉浦 勲)

顕彰碑 探訪

画家で農民運動に 足跡を残した千金貫事

島根県浜田市の顕正寺

に、鎌とパレットが描かれた墓があります。画家の千金が農民運動に貢献した姿を描いたものです。

千金は、画家を志して上京、柳瀬正夢らと1926年のプロレタリア芸術連盟美術部結成に参加。その才能を労働者や農民のためにささげようと、やがて労働党本部で書記として働きます。当時島根

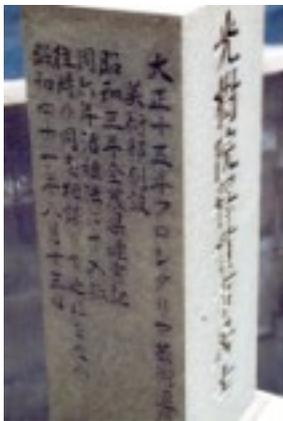
では、労働運動、社会主義運動が大きく広がりました。運動のいっそうの発展のためには、科学的な社会主義に導かれることが必要と、千金に帰省して活動に参加するよう要請。千金はこれに応えて、1929年帰省、島根で

の運動発展に全力をあげます。

千金が加わったことで島根の運動は急速に発展し、1931年3月1日には二〇〇名以上が参加して全農県連大会が開かれました。警察は、翌2日県下一斉に大弾圧を加えました。千金も逮捕起訴され、懲役3年の判決を受けました。

釈放後は夫人の郷里長野で再び画家として活動、1965(昭和40)年3月20日死去し、墓は長野県飯田市にあります。1966(昭和41)年、ともに活動した有志の手で、夫人の協力を得て出身地浜田市に分骨した墓が建立されました。

(同盟島根県本部 勝部庸一)



抵抗の群像



野獣のようなテロにも屈せず

小澤路子

私は1905(明治38)年4月18日、長野県諏訪市の医師の家に生まれ、東京女高師付属高女卒。

化学・金属工場などに働き1927年関東婦人同盟結成で執行委員兼常任書記として活動。33(昭和

8)年2月、非合法下の日本共産党に入党。当時パラシュートを製造していた大崎の藤倉工業に名をかくして臨時工として入社。工場新聞『ペンゾール』の発行など活動していましたが、7月に憲兵隊

に検挙・解雇され、のち特高警察の追及を逃れて大崎署管内を離れ、石川島のごみごみした所の三畳間を借り、地下活動に入りました。

その年の10月31日、私は全協日本金属労組との連絡で、決められていた深川の小さな市場に向いたとき、ついに特高警察に検挙されてしまいました。

警察の車に乗せられ、連れてい

かれたのは大崎署でした。じつは特高たちは、藤倉工業での私の活動に気づかなかつたことをくやしがり、必死になつて探索していたのです。夕方になると特高の取調べ室に連れていかれ、すでに私の

正体は承知のうえでの尋問です。私は何を言われても黙秘でとおしていました。そのうち業を煮やした特高は5、6人がかりで私の帯や着物を引き剥がし、私を素っ裸にして取り囲むと、肘かけ椅子の

壊れた釘の出たままの木片をもつてきて両足を殴る、腿を靴で蹴るのむちゃくちゃなテロをくわえてきたのです。そのいきおいで私の座る椅子が右に左にひっくり返る

のですが、また私を引き起こしてはテロを続けるのでした。私は黙秘をとおしていました。一言でも口を開けば終わりだと思つたからです。そのうち激しいテロは髪を束

ねて引つ張つたり、ひどい凌辱をくわえてきました。野獣のようなテロがどのくらい続いただろうか。やがて私は抱えられて、ボロボロの着物と一緒に二畳ほどの小さな留置場の一室に放り込まれました。留置場の中には大崎無産者診療所の医師大栗清美さんと看護婦さんたちがいて、10人入る一つの監房に30人も押し込むというひどい状態でした。

櫛もなく髪はぼうぼう、化粧品もありません。手ぬぐい半分の布切れで顔を洗うのです。それでもみんなは一致結束して毎日、毎日耐えています。たまに視察にくる内務省の役人が、私たちの房を覗き見ながら、「よく生きています」と言つたものでした。

私は何度も検束され、5、6カ所の警察を回されてきていますが、それにしても非道のかぎりをつくした大崎署の中で1年余り、よくも生きて出られたものだといふときどき思うときがあります。

私はここで、各地から押収してきた本が山のように積まれている物置の板の間で、その本を背負わ

せるという拷問を受けました。私の足が今でも悪いのはこのときのテロによるものです。

結局、私は執行停止、身柄は親に預けられ、からだが回復したら出頭せよということになり、人に背負われながら大崎署をどうにか生きて出ることができました。

1934(昭和9)年5月のことでした。私のからだは拷問でやられたために腰が立たない状態でしたが、親たちのあたたかい看病もあつて、まもなく家の中を松葉杖で歩けるようになりました。そんなときでも私は、組織の方はどうなっているか心配でなりませんでした。

やがて一人で動けるまでに回復すると、見てくれた父には悪いと思ひながらも、その年の10月に上京。しかし組織はすでに破壊されてきました。翌年3月、病臥中のところを再び検挙され、2年後、懲役2年執行猶予4年の判決を受けてから再び出獄し、また郷里で療養の身となりました。

(「不屈」神奈川版より要約。小澤さんは1995年8月5日死去。富矢記)

同盟短歌

選者 碓田のぼる

筵むしろ旗揚げ舞台に駆け上がる一揆の踊りに人は息呑む

評 緊張したリズム感で歌い、結句はよく収まる。

岐阜県 和田 昌三

新潟県 柳川 月

デパートは閉店セールに賑わうという淋しきニュース聞きつつ籠る

評 「聞きつつ籠る」は、状況についての作者の批判。

福井県 元山章一郎

緑の風に旗なびかせつつメーデーに声はずませてゆく「基地撤去せよ」

評 メーデーの高揚した全体的な光景をかく歌う。

静岡県 江川 佐一

顔見れば「逢いたかった」と大声で妻は泣き出しわれはとまどう

評 入院中の病で妻をいとおしむ思いがにじんできている。

大分県 渡辺 幹生

病む妻はカーネーションを待ちている苦しみ日々のすがる思いか

評 花にもすがって元気になってほしいと願う作者

北海道 棟 徹夫

軍刀かたな折り襟章砕きし八月の影灼くる陽よ上官自死す

評 一九四五年八月十五日、かく自裁した上官ありと。

東京都 若林 義文

敗戦より非戦非核を唱えきて八十七歳うごけなくなる

評 「うごけなくなる」はさりげないながら万感あり。

新潟県 加茂川ハル子

五年経し福知山線事故報告書原因はたったの十二行なり

評 悲惨な事件も、時間に風化されていく事を批判。

和歌山県 中平 喜祥

蕪村の碑の梅はころびて雀二羽毛馬の堤を飛び渡り来る

評 牧歌的な、早春の田園風景の「コマ」である。

兵庫県 岸本 守

強姦の現場を見しと語りたる陸軍兵士の勇氣賛へり

評 戦争の加害の真実を告げることで反戦の決意を。

読書

『植民地・朝鮮の子どもたちと生きた教師 上甲米太郎 高麗博物館編』

大月書店

定価 本体2400円+税

本書は、植民地時代の朝鮮にあって朝鮮人民衆を心から愛し、植民地支配を告発して投獄されながらも朝鮮民族の解放のために闘い続けた一人の日本人の記録である。

上甲米太郎は17歳で朝鮮へ渡り、公立学校の教師を務め、誠実に教育にとりくむが、しだいに日本の植民地支配に疑問を持ち、3・1独立運動を抹殺しようとした総督府の意向に反する学習会を行ったために、1930年12月、校長を務める学校で授業中に治安維持法違反容疑で逮捕され、二年間の厳しい獄中生活を過ごす。出所後は、北海道釧路や九州大牟田の炭鉱で労務係などをして朝鮮人労務者たちと過ごして敗戦を迎える。

の生涯を、肉親と日韓の歴史研究者が綴った四篇からなっている。

また、終章には、書簡と日記、判決記録、年譜、写真など貴重な資料が数多く収められている。最初に登場する長女・まち子(青年劇場女優)のエピソードを交えての「父を語る」は、人間米太郎がよく解って楽しい。また学者の李俊植は、反帝国主義教育労働運動を語り、辻弘範は、「上甲日記」を精読して思索の歷程を探り、樋口雄一は、朝鮮解放運動史での上甲の評価を熱く論じている。

本書はこの波乱に満ちた八五年
主権「韓国平和・連帯の旅」では、米太郎のゆかりの地を訪ねる。韓国併合一〇〇周年の今年、上甲米太郎の生き方を学ぶ意義はきわめて深い。是非お進めしたい。(荘)



上甲米太郎

伊藤千代子最後の手紙公開5周年記念のツアー

― 首都圏から250人参加、同盟北海道と交流 ―

「伊藤千代子最後の手紙公開5周年の集い」と野呂栄太郎、小林多喜二をめぐる北海道ツアーが5月9～11日おこなわれ、首都圏などから38名が参加、同盟道本部と各地の同盟支部と交歓しました。

苫小牧市立図書館では、伊藤千代子が獄中から最後に発信した4通の手紙を参観しました。「記念集会」には全道も含め251名が参加し会場は満杯。詩人・入谷寿一氏の「浅野晃」幻想詩集について、「千代子の会・中村洋子氏の「伊藤千代子を歌つ三つの歌曲」、藤田廣登氏の「地しばりの花」

に寄せて 千代子と浅野との出会いと訣れ」がそれぞれ感動をもつて迎えられました。

翌10日は、宮田汎同盟中央副会長と藪田享共産党町議の案内で、長沼町での自衛隊基地反対のたたかいや野呂の生地、同記念碑を見学。小樽では多喜二祭実行委員会

の斉藤力事務局長の案内で文学碑、小樽商大では荻野富士夫教授の案内で多喜二資料を参観しました。宿舎は多喜二が勤務した旧拓銀小樽支店のホテル。館内には「小樽支店のホテル」で知られる小林多喜二が勤務していた銀行」の案内も。

第21回全国女性交流集会

とき 11月14日(日)午後1時開会～15日(月)正午

ところ 静岡県熱海市・ホテル池田

記念講演 堀江ゆりさん(日本婦人団体連合会会長)

2010年国際女性デー中央実行委員長)

翌11日は旧居跡、奥沢墓地で献花。このあと「3・15」拷問の小樽警察署、小樽文学館、運河散策、「工場細胞」の舞台・北海製罐、「不在地主」のモデル・磯野商店の「海猫屋」など多喜二作品と活動の足跡をたどりました。

『治安維持法と現代』
2010年春季号を読んで
森田 君子

同盟の理論誌として各分野の著名な方々が執筆され、初めは難しいという思いがありました。しかし、山宣、多喜二特集にふれ身近に感じてしつかり読むようになりました。今号は安保改定50年、韓国「併合」100年などさまざまな歴史的節目の年での企画でした。

故吉岡吉典さんが主張されていた治安維持法犠牲者が真の愛国者として讃えられるために、同盟活動を国民全体の運動にすることが求められている、この言葉が今も心に深く残っています。

同盟の発展は学習と行動がカギです。本誌が多くの同盟員に読まれることを期待します。(埼玉県)

「植民地支配の完全な生産と歴史認識の共有をめざして―政府による戦後補償の完全処理を強く要求する」集会(「併合」一〇〇年日本委員会主催)が5月15日開催。増本一彦副会長は「侵略に対する反戦闘争や国際連帯などへの国内での弾圧」について発言しました。

事務局 日誌

- 5月1日 M-1デー署名行動
- 5月3日 憲法集会
- 5月13日 国会請願行動・参議院議長及び法務大臣に面談要請
- 5月14日 中央三役会議
- 5月15日 「併合」一〇〇年日本委員会メイン集会
- 5月17日 国連「社会権」日本委員会学習会

【訂正とお詫び】

『治安維持法と現代』 19の6頁下段後ろから5行目「幼児であつた」は削除。8頁下段7行目「朝鮮総督のあと首相になったものは」は「朝鮮統監総督で首相にかかわったものは」に訂正。49頁4行目「連台」は「連合」、同頁14行目「確かめた」は「確かめ」に訂正。同141頁「島根県」は「鳥取県」の誤りです。